会 議 録

会	議	の	名	称	第 11 回 千種生活圏の拠点づくり検討委員会
開	催		日	時	平成30年6月6日(水)19時00分~20時30分
開	催		場	所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室
議長氏	: (委	員長	・会力	軣) 名	舩曵順市
委氏				員名	(出席者) (欠席者) 松曵順市、亀井欣也、藤原 隆、鳥居 薫、 森井俊二、磯崎伸彦、 波多野好則、猶原一典、金本己世始、鳥羽敏美、 金本まみ、杉本千里 清水一女、奥田慎一、井岡陽子
事氏		務		局名	宍栗市千種市民局:津村市民局長、清水副局長、岸本副課長、藤原専門員企画総務部:坂根部長、水口次長地域創生課:西嶋課長、藤原副課長、前田係長、朱山主査
傍	聴		人	数	3名
会議区	の公	開・	非公同	開の分	公開・非公開 (非公開の理由)
決	定		事	項	(議題及び決定事項) 1 開 会 2 あいさつ 3 生活圏の拠点づくり計画について 4 その他 5 閉会
会	議		経	過	別紙のとおり
会	議	資	料	等	別紙のとおり
	事 釺 名押	录 <i>(</i> 印)	の確	認	(委員長等) <u></u>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
清水副局長	1 開 会
	2 あいさつ
委員長	皆さまお疲れ様です。いよいよ梅雨に入ったということで、これからぐず
	ついた天気が続くという中で、本日は第 11 回の千種生活圏の拠点づくり検討委
	員会にお集まりいただき、ありがとうございます。
	さて、前回の委員会では、計画案について市民の皆さまにアンケートをとって
	はどうかという話しになりましたが、私も前回から今日までの間に連合自治会長
	をはじめ、いろいろな方のご意見を伺う中で、「なぜアンケートをするのか」「検
	私たちはこれまでの検討委員会の中で、拠点づくりに関する多くの意見を出し
	てきており、意見は出尽くしていると考えています。
	私たちの役割として、拠点づくりについて千種の市民を代表して、意見を出す
	ことだと考えていますので、今後は、私たちの意見を基に市において検討してい
	ただき、まとめていただければいいと考えています。
	ということで、本日はこれまでの意見を踏まえて市の拠点づくりの考え方を説
	明していただき、そのことについて議論させていただくことをもって、独断と偏
	見ではありますが、この検討委員会での議論を締めさせていただきたいと考えて
	います。
	3 生活圏の拠点づくり計画について
坂根部長	・ 市の生活圏の拠点づくりの考えについて説明
	まず、これまでの間、検討委員会で何を決めていただくかなど、方向性を
	皆さまにはっきりとお示しできていなかったことについて反省しているとこ
	ろです。先ほども委員長からありましたように、この検討委員会でいただい
	た意見や拠点づくりの方向性を具体的に計画に盛り込んでいくことは市の責
	務だと思っています。
	この検討委員会ですべてを決めていかなければいけないという必要以上の
	ご負担を皆さまが感じてしまうような誤解を招いてしまったことにつきまし
	てお詫び申し上げます。
	千種の拠点となる施設を考えていくうえで、市民の皆さまがどのように考
	えられているのかを盛り込んでいくことは当然必要なことでありますので、
	各方面でご活躍させている皆さまに委員として参加いただき、この検討委員
	会を立ち上げさせていただきました。
	そして、これまでの検討委員会で、将来に向かって千種のまちづくりをど

うしていけばいいかなどを議論いただき、様々なご意見を頂戴しました。今後は、市の責務で皆さまの意見をできる限り計画に盛り込んでいくように進めていきたいと考えています。

しかしながら、いただいたすべての意見を計画に盛り込んでいくことは予算的なことや市の方針によってできない可能性もあります。そのことにつきまして、ご意見と食い違う内容になることも考えられますが、その都度、議論しながら修正をしていきたいと考えています。

さて、拠点づくりにつきましては、この検討委員会の当初にもご説明しましたとおり「にぎわいの拠点」「集いの拠点」「まちづくりの拠点」となる環境整備を図っていきながら、少しでも人口減少が緩やかになることを目標として進めていきたいと考えています。

そのうえで、これまでの検討委員会での皆さまのご意見を考えますと、拠点施設については1か所であることが望ましいと、多くの委員の皆さまが思われていると考えています。そのことにつきましては、市としても1か所が望ましいと考えています。

しかしながら、市民局の位置では敷地が狭く、全ての機能を集約した場合にどうしても駐車場が狭くなってしまい、健診などで駐車場を使用する際に影響が出ることが懸念されます。また、エーガイヤちくさの位置につきましては、千種川及び西山川に挟まれた敷地ということで、これ以上の拡張をしていく余地がない敷地となります。その中で、エーガイヤちくさが保健福祉施設として整備された経緯も踏まえて、その機能を維持しながら全ての機能を集約することはできないと考えています。

これらのことを踏まえますと、千種地域におきましては「市民局の拠点」と「エーガイヤちくさの拠点」の2か所を拠点として、その中間にあります 商店街の再生を視野に入れながら、2か所の拠点を線で結ぶ取組を進めてい く必要があると考えています。

2か所の拠点の機能につきまして、「市民局の拠点」においては、皆さまからもご意見がありました「集いの場」や「学習の場」にしたいと考えており、生涯学習とまちづくりの機能を持たせたいと考えています。そして「エーガイヤちくさの拠点」においては、既に皆さまに馴染みのある保健福祉の機能を維持しながら、将来の高齢化社会を見越して、より円滑に手続きをしていただけるように行政窓口の機能を追加したいと考えています。

先ほど委員長からもありましたように、市としましては検討委員会を今日で一区切りとし、次のステップに進みたいと考えています。

次のステップに進むということになりますと、皆さまからいただいた意見をさらに精査し、以前に一度お示ししました「千種生活圏の拠点づくりの考え方」という資料を修正して、再度皆さまに確認いただくことになります。

その「千種生活圏の拠点づくりの考え方」を基に、「基本計画」の作成に移 らせていただきます。

「基本計画」では、拠点施設がイメージできる図面も作成しますので、その図面が出来上がった段階で、まずこの検討委員会の皆さまに見ていただきたいと考えています。また、各種団体の皆さまの意見を伺う場も設けたいと思っています。

前回の検討委員会では、この検討委員会で全て決めていかないといけないという責任感からアンケートをするというように言っていただいたのではないかと思いますが、皆さまからのご意見をできる限り計画に盛り込んでいくことは市の責務でさせていただきますので、ご提案のありましたアンケートにつきましては見送り、次のステップに進ませていただきたいと考えています。

委員長

これまでの議事録を読んでいただいたら、大体同じような話しの繰り返しになっているなという印象です。同じ議論を繰り返す中で、私たちも少し疲れてきたなという思いもあり、また、検討委員会で決めることの責任も感じる中で、前回アンケートをしてはどうかということになりました。

しかし、私は、図面が出来上がってからの方がいろいろと意見が出やすい ということもありますし、先ほど部長が言われたように進めていただければ いいのではないかと思っています。

もちろん、私たちが出した意見が全て盛り込まれるということは不可能に 近いと思いますが、できる限り参考にして進めていただきたいと思います。

また、もし図面が出来上がった時点で、私たちの意見があまり反映されていないということがあれば、その時は図面の書き直しを含め、意見させていただきます。

そういったことで、検討委員の皆さまにもご理解いただければと思っています。

このことについて、皆さまの意見を伺わせていただきたいと思います。

副委員長

これまで検討員会の使命は何なのか分からないままでしたが、先ほど説明いただいて理解することができました。

初めのうちは、ゼロからのスタートという説明だったので、検討委員会で建物の形なども含め全て決めていかなければならないという思いで、これまで議論をしてきました。ようやくここ数回で具体的な議論もできてきた矢先に今日の話しだったので、これでいいのかなと思うところはありますが、部長の説明を聞くと仕方ないのかと思っています。

坂根部長

今日でこの検討委員会が終わりということではなく、一区切りさせていただきたいと思っています。いただいた意見の中で、できること、できないことはありますが、できる限り皆さまのご意見を盛り込んだ計画を作らせていただき、図面ができた時点で、再度皆さまにお集まりいただき、お示しさせていただきたいと思っています。

委員長

この検討委員会も今日で一区切りということなので、今日出席いただいている皆さまからそれぞれ意見いただければと思います。

以下、検討委員の意見

- ・ エーガイヤちくさにおいては、現在、診療所、保健福祉課、社会福祉協議会が入っており、これまで3者でこの建物のスペースを有効活用していこうと議論してきたこともありますので、行政窓口の機能を移されるにあたり、そういったことも考慮していただきたい。
- ・ 木造にこだわらず、狭いスペースを有効活用できる高層の建物の図面も描いてもらいたい。
- ・ 行政としては考え難いことなのかもしれないが、施設の維持管理費を捻出 できるような収入源をもった施設としてもらいたい。
- ・ 市民が気楽に入れるような場所(若い方が集まれる場所、学生が勉強できる場所)や多くの人が集まれるホールは必要だと思う。
- ・ 拠点には核になるものが必要だと思う。市から提案いただいている「市民局の拠点」では集いの場所ということで、必ずしも市民が必要なものではないと思うので、2つの拠点にそれぞれ市民が必ず訪れる行政窓口の機能を作ってもらいたい。そのうえで、手続きで2か所を行き来しないで済むようにしてもらいたい。
- ・ 木造にされるのであれば、そのことについて議論もできたと思う。木造は、 耐震性など防災上どうかと思う。
- ・ 商店街に住んでいるが、診療所、農協がそれぞれ南に行ってしまいだんだ ん家の周りが寂しくなっている。以前は、なんとなく市民局も南へ行くの かなという思いだったが、この委員会を通じて我々世代も頑張りたいと思 えるようになった。
- ・ 子どもが遊べる場所がないと子育て世代は集まらないと思う。エーガイヤちくさにも遊ぶスペースはあるが、活動されている場なので、許可をいただいて使わないといけないと思うところがあり、子どもの年齢が上がるにつれて、少しずつ利用する機会が減ってしまう。新しい拠点には、許可をとらなくても利用できるような、気兼ねせずに使える子どもの遊びの場があればいいと思う。

- 駐車場が狭いと子どもの乗り降りにも気を使ってしまうので、できる限り 広いスペースがほしいと思う。
- コンビニなどあれば、子どもが喉が渇いたり、お腹がすいた時に買ってあ げられるので便利だと思う。自販機でもいいが、お茶を飲んだり、お菓子 を食べたりできるスペースがあればいいと思う。
- エーガイヤちくさには、大きなホールがないので、大人数が集まる場合は センターちくさを利用している。たくさんの人が入れる大きなホールがあ れば、学習の場や研修の機会、イベントなどで活用できると思う。また、 そういった施設ができることで、市民の方を含め、働く人のモチベーショ ンが上がることに繋がり、地域づくりに繋がると思う。
- 2つの拠点があるという強みを活かしてもらえたらと思う。
- 家族で話していると家族全員エーガイヤちくさに全ての機能を集約する 方がいいという意見でした。利用する方もそうですが、職員の方も1つの 拠点の方がいいのではないかと思う。
- 野菜を作って販売したいと考えているので、そういった拠点になってほし いと思う。
- ・ コンビニのように24時間開いている一人暮らしの高齢者の拠り所にな るような拠点であってほしいと思う。
- コンビニやスーパーなど買い物ができる機能があればと思う。
- 文化的なことなど今取り組んでおられることで、生きがいとされているよ うな取組ができるような施設にしてもらいたい。
- ・ もの作りができる拠点や商工会青年部などが活動できるようなスペース がほしい。
- 消防の車庫については、消防団とよく相談してもらって決めてもらいた
- これからの人口減少を考えて、維持管理費の掛からないようなコンパクト な施設としてもらいたい。
- ・ 木造の建物は強度の問題があると思う。
- 拠点として、交通の要衝として機能するようにしないといけないと思う。
- 確定申告など商工会業務も遂行できるようにしてほしい。
- 4 その他
 - -特になし-
- 5 閉会

検討委員の皆さまには、昨年8月から大変な思いをしていただいたと思い

6

副委員長

ます。とりあえず、今日で一区切りということで、長い間ありがとうございました。